



行政

出納局 総務事務センター職員

◎ ある日のスケジュール

6:00	起床
6:30	朝食・登園準備
7:40	子どもが夫と登園
8:30	出勤、支払処理、旅費審査
12:00	昼休み
13:00	会議に出席
15:00	会議の報告書の作成
17:15	退勤
18:00	子どもの迎え
18:30	夕食
19:00	子どもと入浴・遊ぶ
20:00	子どもの寝かしつけ
21:00	翌日の食事の準備など家事
23:00	就寝

Q 育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

県庁では、たくさんの先輩・同僚が出産休暇・育児休業を取得し、復職して働いているので、私も取得しようと思いました。今後も仕事を続けていく中で、子どもと一日中一緒に過ごし、ひとつひとつの成長を自分の目ですべて見られるのは、このときしかないと思いますので、本当に取得して良かったです。

Q 育児休業を取得することに不安はありましたか？

担当業務の引継ぎなど職場の負担になることが申し訳なかったですが、上司や同僚の皆さんが育休前から様々な配慮をしてくださり、不安なく休みに入ることができたのでとてもありがたかったです。収入面でも育児休業手当金の制度により、事前に見通しを立てることができ、大きな減収なく安心して過ごすことができました。

Q 育児休業を取得した感想を教えてください。

目まぐるしく変化していく日々の一瞬一瞬が尊く、かけがえのない時間を過ごすことができました。特に、最初の半年間は夫も育休を取得していたので、身体的な負担も軽減され、育児の喜びや悩み事を共有できたことがとても良かったです。また、子どもを通してそれまで知らなかった世界が見えるようになり、様々な社会制度などへの関心も高くなりました。

Q 職場復帰はスムーズにできましたか？

新しい所属での復帰でしたが、復帰の少し前から新しい業務の資料に目を通すなどの準備をして、復帰後は、同じチームの皆さんにサポートしてもらいながらスムーズに仕事に戻ることができました。育休取得後に復職している同期の友人などからも話を聞き、復帰後の働き方や子育てとの両立をイメージできたのも良かったと思います。

Q 職場復帰後の子育てと仕事の両立はどのようにしていますか？

毎日慌ただしく過ごしていますが、保育休暇を取得して早めに退庁したり、テレワークで通勤・昼休み時間を家事に充てたり、様々な制度を活用してもらいながら両立に努めています。仕事を進める上ではより効率を意識するようになりました。子どもの発熱などで休暇をいただくことも多いですが、いつも周りの皆さんに助けていただき感謝しています。

＼ 県職員を目指している方へのメッセージ！ ／

県職員は、県内各地、国や他県との関わりの中で、法制度の運用から地域の皆さんと密接に関わる仕事まで、幅広い業務を経験できるところが面白いと感じています。テレワーク環境や休暇制度などが充実しているので、子どもとの時間も大切にしながら働き続けられる職場だと思います。多様なキャリアや働き方で活躍しているたくさんの先輩方が待っています！